

平成28年度 日本作業療法士協会

作業療法推進活動パイロット事業 報告



将来の作業療法を担う人材確保 小・中学生を対象にした作業療法 および作業療法士の啓発・普及活動



(公社)大分県作業療法協会



課題名	将来の作業療法を担う人材確保 小・中学生を対象にした作業療法 および作業療法士の啓発・普及活動 
期間	平成28年4月～平成29年3月
経費	1,231,000円
目的	将来、作業療法を担う優秀な人材を確保することは、作業療法の発展はもとより、対象者へのサービスの質の向上にも直結する重要な課題だと考える。 （公社）大分県作業療法協会は、広く県民を対象に、作業療法および作業療法士の啓発・普及活動を行ってきた。「高校生一日作業療法体験」では高校生を対象に事業を実施しているが、高校生は既に進路を決めている場合が多いと感じている。そこで、「仕事調べ」を行う小学生や、「職場体験」を行う中学生を対象に作業療法および作業療法士の啓発・普及活動を行い、作業療法を目指す優秀な人材確保を目的に事業を実施する。

方法

小・中学生を直接ターゲットにした①まんが冊子、②シール、③風船、④LINEスタンプ、⑤ウェットティッシュの作成や、⑥中学生を対象にした「職場体験」の受け入れ、⑦小・中・高等学校での出張授業を総合的に実施する。

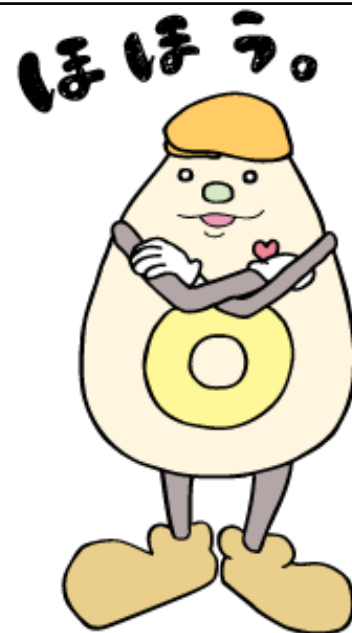
「作業療法フェスタおよび作業療法ミニフェスタ」において、②・③を参加特典として用いて子供の来場を増やし、一緒に来場する保護者に作業療法および作業療法士の説明を行い啓発普及を図る。③については来場者が持ち歩くことで、来場者以外の方にも「作業療法」の文字が目に入り啓発普及につながる。また、⑤を参加特典として用いて保護者の来場を増やし、作業療法および作業療法士の説明を行う、あるいは無料配布し、使用する度に「作業療法」を目にもらい啓発普及を図る。④についても使用頻度の高いLINEスタンプを作成することで一般の方々が「作業療法」を目にする機会を増やし啓発普及につなげる。

アウトカム

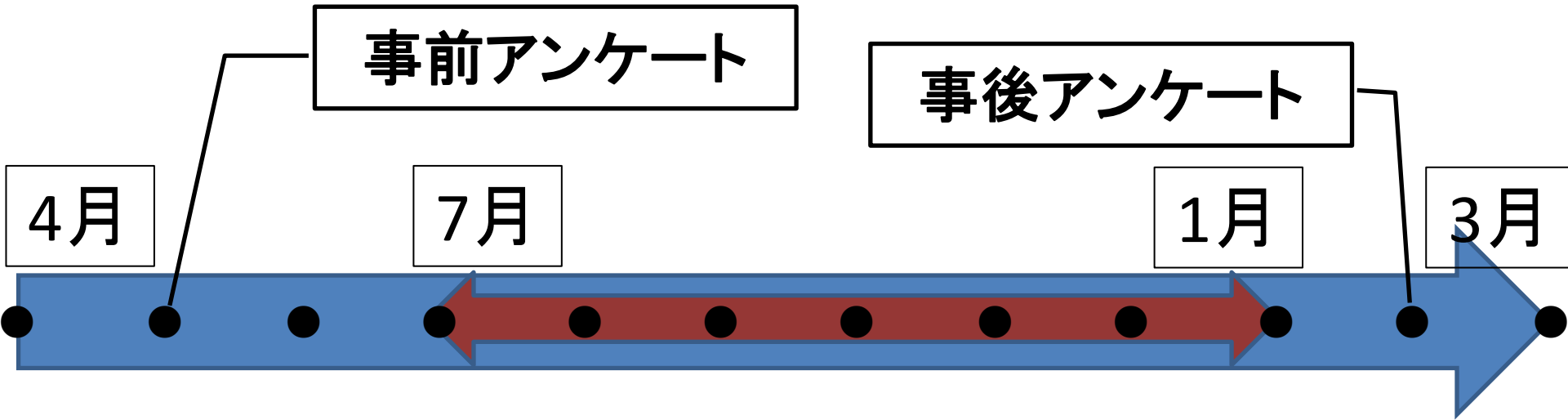
抽出した複数の県内小・中学校を対象に、年度初め(5月頃)と年度末(2月頃)にアンケートを実施。

作業療法および作業療法士の認知度と、作業療法のイメージや職業内容の理解の習熟度、目指したいかを確認する。啓発普及活動の結果を数値化して報告する。

また、認知するに至った媒体の確認を行い、小・中学生への啓発普及に有効な方法を確認し、今後の参考にする。



事業実施計画



- ・まんが冊子の配布
- ・作業療法フェスタでのシール・風船の配布
- ・LINEスタンプの作成
- ・中学生「職場体験」の受入れ
- ・出張授業の実施

実施内容と結果

①まんが冊子の作成と配布(1500冊)

「おしごとガイド 作業療法士 ～人を笑顔にするリハビリテーション～」



小学校268校、中学校127校に配布
(学校図書館への配置を依頼)

18市町村教育委員会に配布

18市町村介護保険担当部署に配布

②(公社)大分県作業療法協会イメージキャラクター 「おっていー」のシールシート作成と配布(1000枚)



作業療法フェスタ

作業療法ミニフェスタ(春日まつり、日田市健康福祉まつり
豊後大野市ふるさとまつり、もみじまつり、みかんまつり
大分大学開放イベント、佐伯交通安全フェスタ)
げんきフェア、リレーフォーライフ、作業療法相談窓口

③(公社)大分県作業療法協会イメージキャラクター 「おっていー」の風船作成と配布(2000個)



作業療法フェスタ

作業療法ミニフェスタ(春日まつり、日田市福祉健康まつり
豊後大野市ふるさとまつり、もみじまつり、みかんまつり
大分大学開放イベント、佐伯交通安全フェスタ)
げんきフェア、リレーフォーライフ、作業療法相談窓口

④携帯電話のLINEスタンプの作成と登録(40アイテム)



平成29年3月末時点で、約80名の利用者

⑤ウェットティッシュの作成と配布

→予算上、(公社)大分県作業療法協会の支出にて実施

⑥中学生を対象にした「職場体験」の受入れ

会員に対して、「職場体験」を積極的に受入れるよう依頼
『中学生職場体験の受入れ』状況のアンケート調査実施
受入れ可能施設の一覧を作成し、教育委員会に配布

施設名： _____

連絡先： _____ 記入者： _____

1. 「中学生職場体験」の受入れをしていますか？

はい ・ いいえ

受入れている場合はご記入ください。

受入れている学校： _____ 学年 _____ 年生

滞在期間 _____ 月 _____ 日 _____ 時 _____ 分 _____ 秒 _____ 日 _____ 時 _____ 分 _____ 秒

2. 「中学生職場体験」の受入れは可能ですか？

可 ・ 不可

3. 受入れ「可」の場合の担当者様のお名前をご記入ください。

担当者（役職）： _____

4. 受入れ「不可」の場合、理由をお聞かせください。

5. ご意見やご要望等ありましたらご記入ください。

「中学生職場体験」受入れに関する調査

施設名	教育委員会	連絡先	記入者	可の場合： 担当者の氏名
こうぎデザイン・リハビリテーションセンター	大分	097-576-1212	佐藤	高橋 夢美(主任)
取の市リハビリテーションセンター	大分	097-578-6885	佐藤	
大分県立病院	大分	097-508-5000	太田 有美	太田 有美(課長補佐)
ホルツホール大分 障がい者福祉センター	大分	097-876-8880	正思 祐子 [作中実決主]	正思 祐子 [作中実決主]
明和記念病院	大分	097-578-1000	塩山 しのぶ	塩山 しのぶ
大分県立病院	大分	097-521-0110	谷口 恵孝	数田(事務)
佐賀県病院	大分	097-575-1172	佐藤	佐藤 純子(主任)
たねが門科	大分	097-545-1122	種子田 秀仁	種子田秀仁(GT)
若狭 ゆふいん児童	由布	0977-28-2100	若下 智子	若下 智子(作中実決主)
大分大学医学部附属病院	由布	097-536-6160	渡邊 節明	渡邊 節明
県立病院	由布	0977-84-8171	尾道 三美子	尾道 三美子 [作中実決主]
通所・訪問リハビリテーション ウォーク	由布	0978-72-5050	若本 あきこ	若本あきこ [作中実決主]
県立記念病院	大分	0977-67-1211	平国 津也	平国 津也
新築病院	大分	0977-22-0891	大野 美	大野 美 [作中実決主]
若狭 シェモア児童	大分	0977-28-7118	恩思 [作中実決主]	安東 有明(課長)
大分県立病院	大分	0977-21-6876	高田 浩美 [課長補佐]	高田 浩美 [課長補佐]
あおぞら病院	大分	0978-72-0455	沼田 武一郎 [作中実決主]	沼田 武一郎 [作中実決主]
佐賀県立リハビリテーションセンター	佐賀	0978-66-1188	草野(作中実決主)	草野(作中実決主)
若狭 グリーンケアやまが	佐賀	0977-75-2841	佐藤 暢彦	佐藤 暢彦 [福祉事業マネージャー]
高田中大病院	佐賀	0978-22-8745	入子 扶美子	入子 扶美子
若狭 里	佐賀	0978-22-1580	奥戸島 毅	奥戸島 毅(主任)
佐賀第一病院	佐賀	0978-84-9825	佐々木 秀明	佐々木 秀明

⑦小・中・高等学校での「お仕事説明」講師派遣

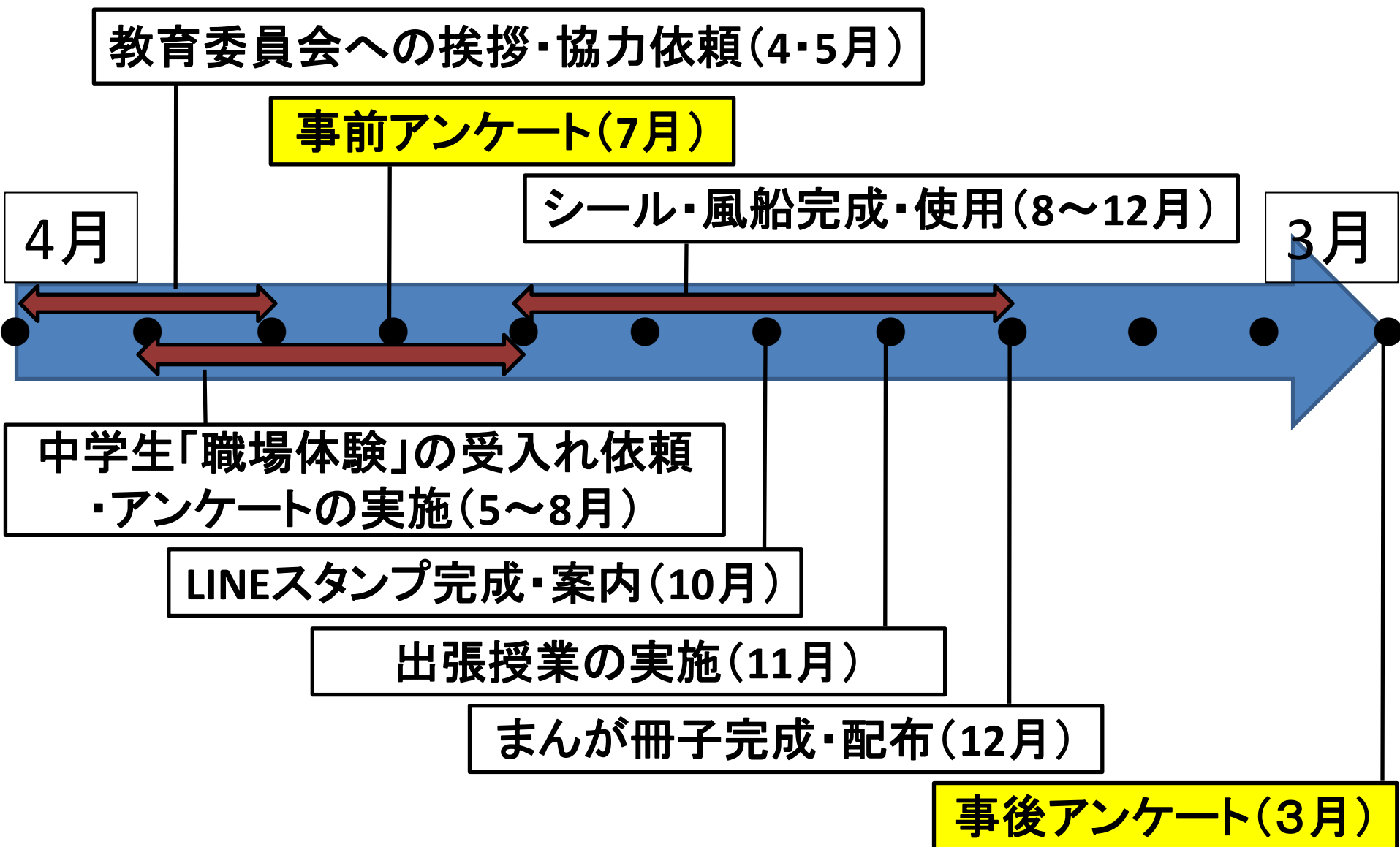


**別府翔青高校での「職業人に学ぶ」への講師派遣
生徒43名に対し作業療法士の仕事について講義**

経 費

通信運搬費	まんが冊子郵送代、アンケート送付代	35,325
給与	デザイン代、デジタル処理代、講師謝金	72,739
旅費交通費	燃料費	2,700
会議費	20名、延べ57回	28,500
印刷製本費	アンケート、公文書コピー代	22,450
風船制作費	2000個	61,992
シール制作費	1000枚	183,600
まんが冊子制作費	1500冊	823,694
	合 計	1,231,000

事業実施



アンケート 方法

対象：小学校5年生、中学校2年生

有意抽出した小学校11校（1061名）、中学校10校（1009名）に郵送調査

※児童数の算出は、Gaccomを参照

1回目に回答があった小学校10校、中学校8校に2回目を送付

1回目、2回目ともに回答のあった小学校9校、中学校8校のアンケート結果を集計した（全てを有効回答とした）

対 象	回 答	回収率
小学校11校（1061名）	小学校9校（約850名）	82%
中学校10校（1009名）	中学校8校（約800名）	80%

1回目と2回目の比較検討

アンケート 内容

当てはまるところにチェック☑を付けてください。↓

1. 「作業療法士」という仕事（職業）を知っていますか？↓

☐ 知っている

☐ 知らない↓

「☑ 知っている」と答えた方にお聞きします。↓

2. どのようにして「作業療法士」（あるいは「作業療法」）を知りましたか？↓

（当てはまるものすべてにチェック☑を付けてください）↓

☐ 自分自身が「作業療法」を受けたことがある↓

☐ 家族や友だちが「作業療法」を受けたことがある↓

☐ 家族や友だちから話を聞いたことがある↓

☐ 本や雑誌、チラシなどで見たことがある↓

☐ お祭り（イベント）などで「作業療法」に関するものを見たことがある↓

☐ その他（ ）↓

3. 「作業療法士」になってみたいと思いますか？↓

☐ なりたい

☐ なりたくない

☐ わからない↓

「☑ なりたい」あるいは「☑ なりたくない」理由を教えてください。↓

4. 将来（しょうらい）してみたい仕事は何ですか？↓

「作業療法士」という仕事(職業)を知っていますか？

<小学生>

	知っている	知らない
1回目	20	818
2回目	44	794

Pearson's Chi-squared test with
Yates' continuity correction

χ^2 値	自由度	p-value
8.598	1	0.003373**

<中学生>

	知っている	知らない
1回目	34	761
2回目	67	720

Pearson's Chi-squared test with
Yates' continuity correction

χ^2 値	自由度	p-value
11.179	1	0.0008**

➡ **認知度は向上した**

統計処理: 彌田剛(藤華医療技術専門学校)

どのようにして「作業療法士」(あるいは「作業療法」)を知りましたか？

	小学生				中学生		
自分自身が「作業療法」を受けたことがある	2	→	5		3	→	6
家族や友だちが「作業療法」を受けたことがある	1	→	3		4	→	9
家族や友だちから話を聞いたことがある	8	→	24		17	→	36
本や雑誌、チラシなどで見たことがある	11	→	12		12	→	15
お祭り(イベント)などで 「作業療法」に関するものを見たことがある	4	→	3		1	→	1
テレビで見たことがある	0	→	10		2	→	0
理学療法士と同じだから	0	→	1		0	→	1
どこかで聞いた	0	→	4				
家族が作業療法士					1	→	0
職場体験					5	→	5
病院で見た					0	→	1
前回のアンケートで知った					0	→	1

まんが冊子の配布が遅くなり広報効果は乏しい
フェスタ等のイベントは小中学生に直接的な広報になっていない
アンケート自体が広報効果があった

「作業療法士」になってみたいと思いますか？

<小学生>

	なりたい	なりたくない	わからない
1回目	0	12	23
2回目	4	15	32

Pearson's Chi-squared test

χ^2 値	自由度	p-value
2.9308	2	0.231 n.s

<中学生>

	なりたい	なりたくない	わからない
1回目	5	8	21
2回目	4	10	49

Pearson's Chi-squared test

χ^2 値	自由度	p-value
3.1443	2	0.21 n.s

➡ 「なりたい」までには至っていない

将来の夢の傾向

小学生

1	医者	52	6%
1	プロ野球選手	52	6%
3	看護師	47	6%
4	保育士	45	5%
5	教員	41	5%
6	建築家	30	4%
6	パティシエ	30	4%
8	サッカー選手	28	3%
9	薬剤師	27	3%
10	調理師	23	3%

17	ユーチューバー	13	2%
----	---------	----	----

18	公務員	10	1%
----	-----	----	----

中学生

1	保育士	54	7%
2	公務員	41	5%
3	看護師	27	3%
4	教員	26	3%
5	美容師	22	3%
6	調理師	19	2%
7	パティシエ	16	2%
8	ファッションデザイナー	15	2%
8	芸能に関わる仕事	14	2%
8	設計士	13	2%

50	ユーチューバー	2	0%
----	---------	---	----

12	プロ野球選手	12	2%
30	サッカー選手	4	1%

小学生：ちょっと現実的ではない夢では・・・？
ユーチューバー、ニート、
プロ野球選手、サッカー選手等

中学生：現実的
より具体的

一方で抽象的

小学生	
人を助ける仕事	1
安定した給料の仕事	1

中学生	
医療従事者	9
人の役に立つ仕事	4
安定した仕事	1
人を助ける仕事	1
楽しい仕事	1
みんなが笑顔になる仕事	1
やりがいのある仕事	1
子供に関する仕事	1
人と話せる仕事	1
人の感謝される仕事	1
高齢者や不自由な方を助ける仕事	1

➡ 中学生が求める仕事特性と
『作業療法』が合致すれば・・・

まとめ

認知度を向上した
フェスタ等のイベントでの認知度は低い
まんが冊子も配布が遅くなり広報効果は低いと思われる

アンケート自体が広報効果があったと思われる

しかし、「なりたい」者は変化乏しい
「作業療法士」認識に留まっていると思われる
「作業療法」の内容(特性)を紹介する必要性がある

仕事特性を示すことで、「作業療法士」を目指す学生は
増えると期待できる

今後の取り組み

中学生をターゲットに、 「作業療法」の魅力を伝えていく

- 中学生対象の「職場体験」の受入れを強化
- 中学生対象の出張授業の実施
- まんが冊子を通して「作業療法」の認知度upに期待

フェスタ等での啓発活動は継続

教育委員会との連携強化を検討していく

継続的にアンケート調査を実施

取り組みと効果判定を行い、効果的な広報手段を模索する

作業療法学生へのアンケート調査等検討